

スマートコントラクト設計図（遺産相続編）メリット

銀行の預金の相続

・ 預金の相続

- ①本人確認（身分証いらない）＝DIDで公開鍵を本人確認に使える
- ②書類の記入はなし＝ブロックチェーンが新製の台帳に使えるから
- ③判子の契約にならず＝ソフト（アプリ）作ればモバイルで完結

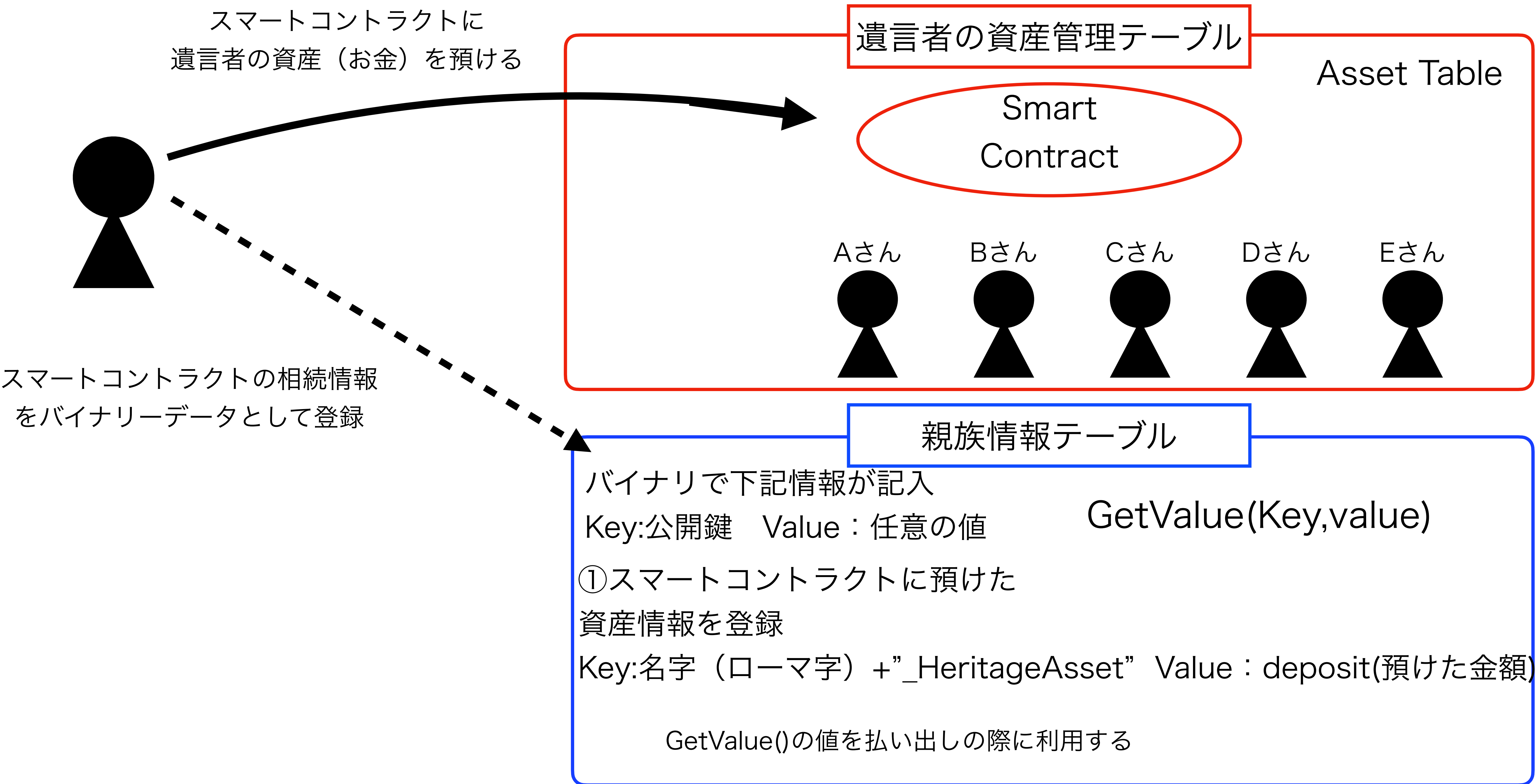
権利書（土地、不動産）

・ 預金の相続

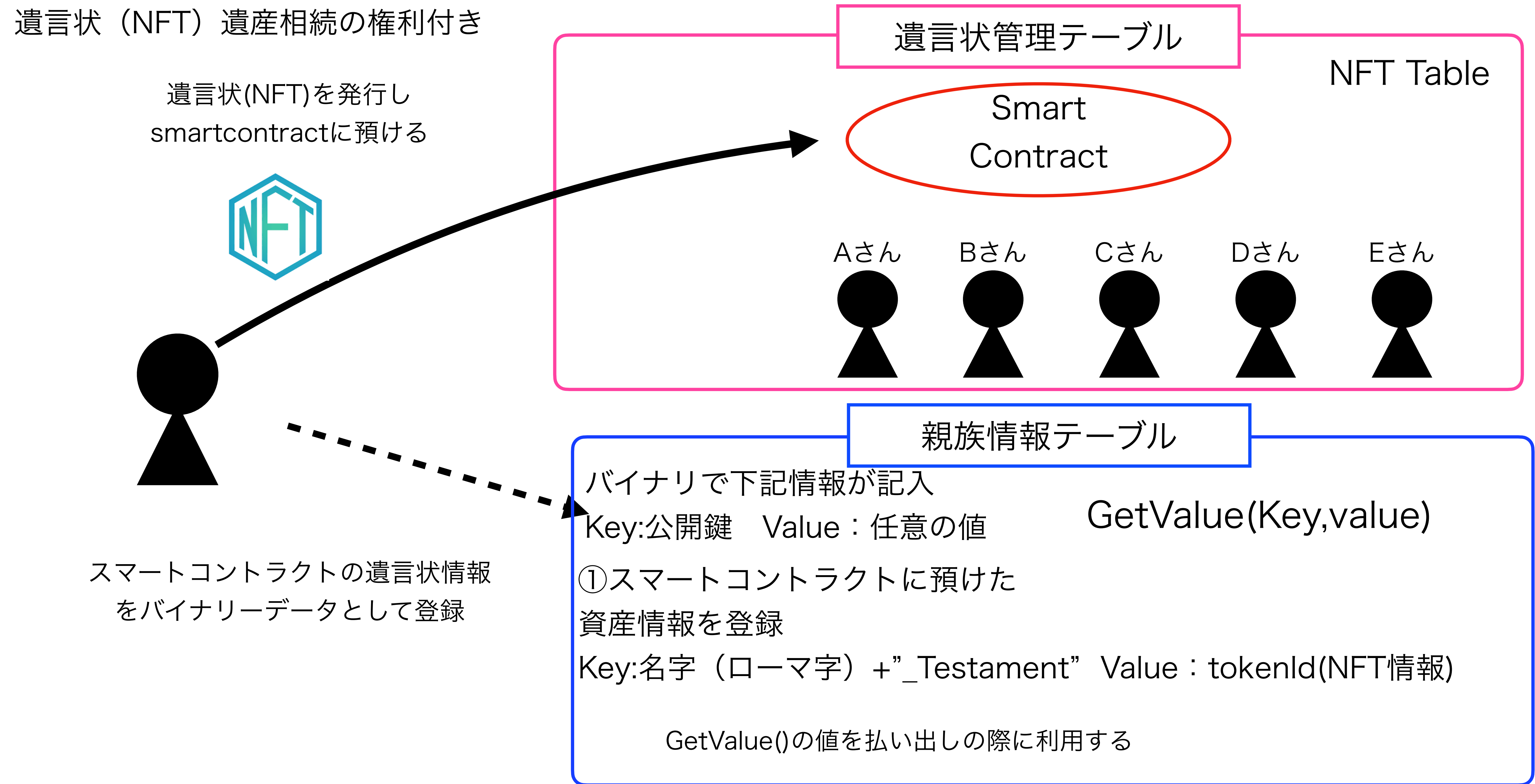
- ①本人確認（身分証いらない）＝DIDで公開鍵を本人確認に使える
- ②書類の記入はなし＝ブロックチェーンが新製の台帳に使えるから
- ③判子の契約にならず＝ソフト（アプリ）作ればモバイルで完結
- ④役所の仕事がよりシンプルになります

他にもいっぱいあるけどこんなもんで！！

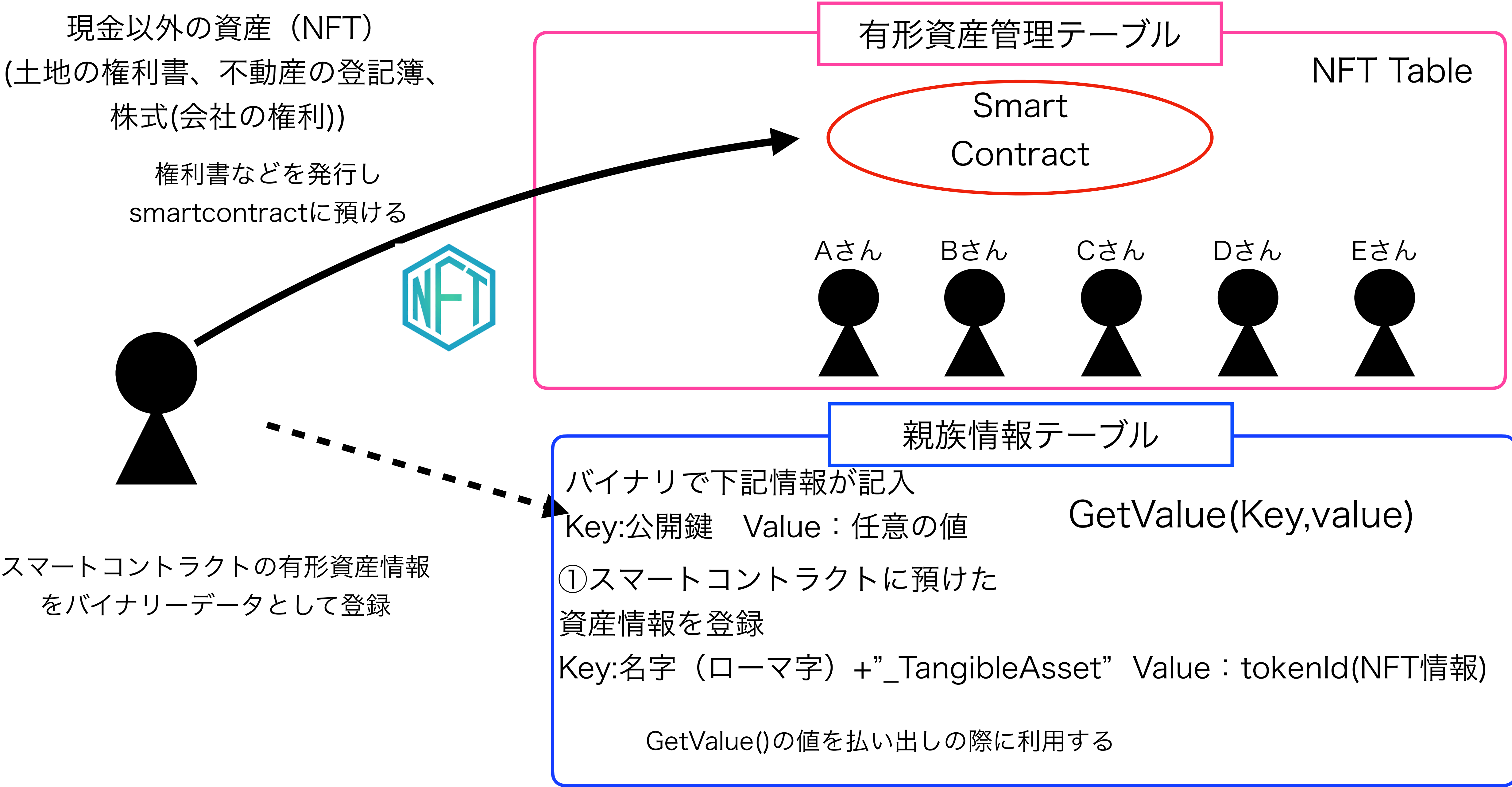
スマートコントラクト設計図（遺産相続編）



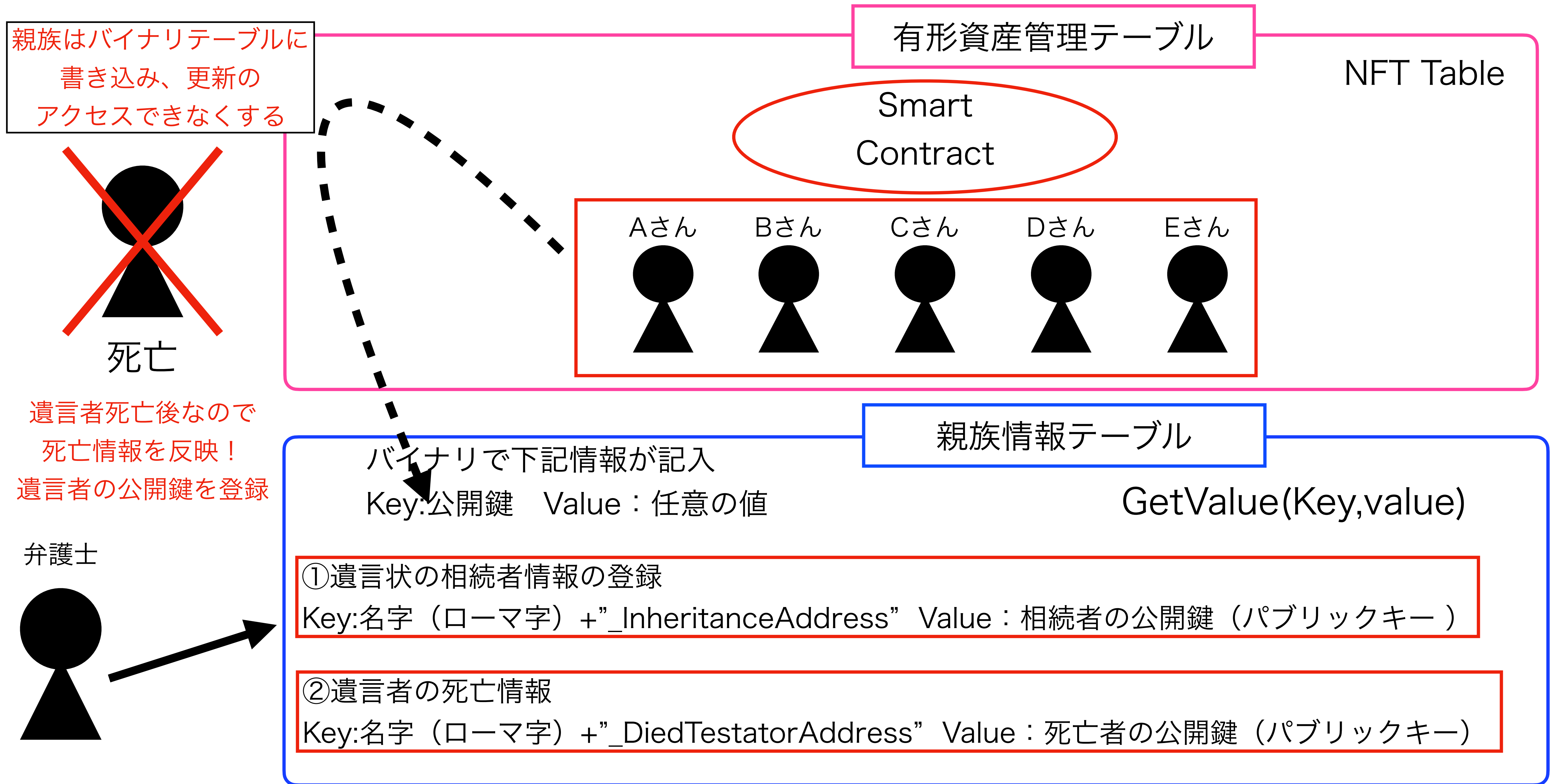
スマートコントラクト設計図（遺産相続編）



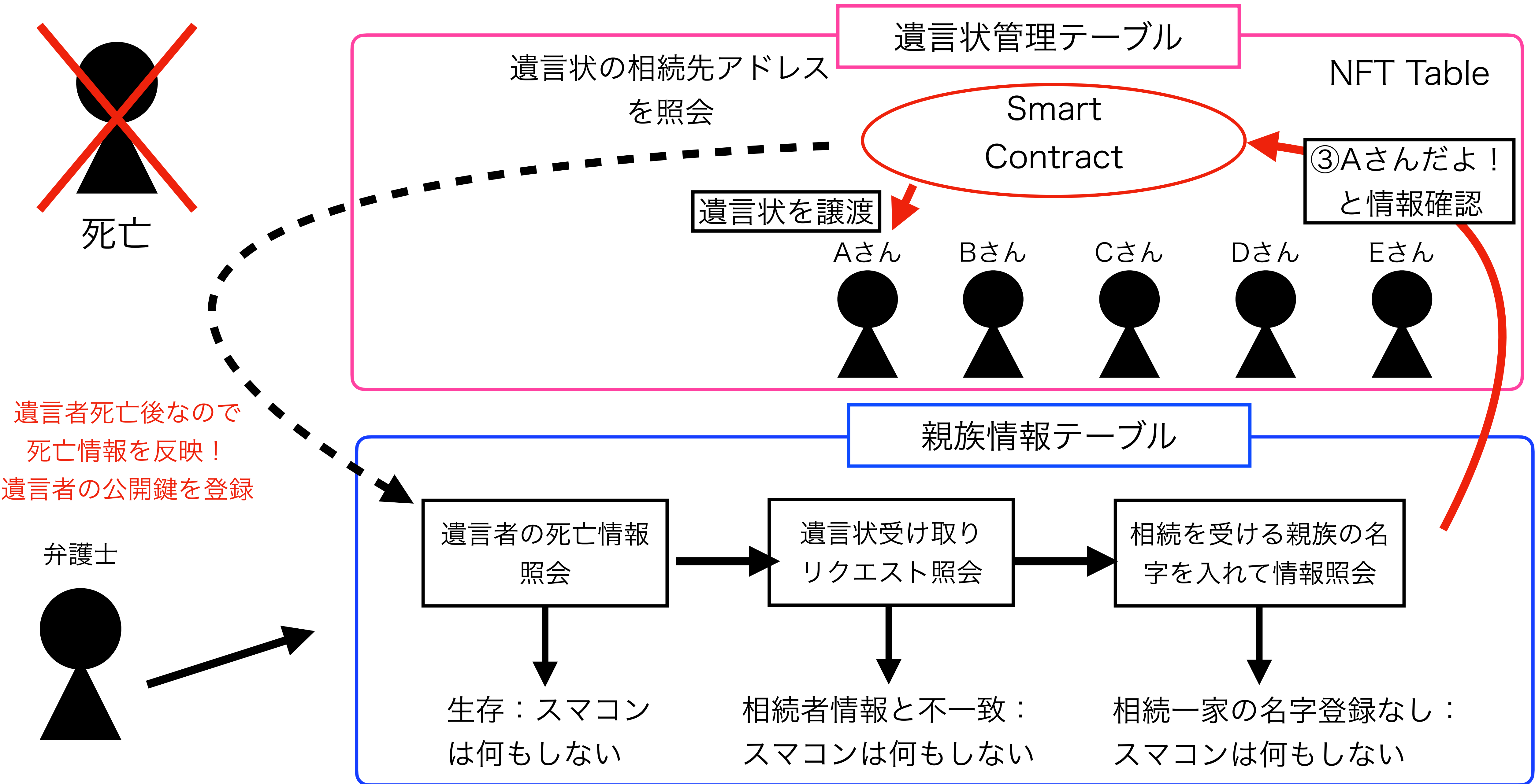
スマートコントラクト設計図（遺産相続編）



スマートコントラクト設計図（遺産相続編）



スマートコントラクト設計図（遺産相続編）



スマートコントラクト設計図（遺産相続編）

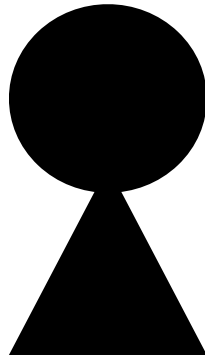
遺言者の資産管理テーブル

Asset Table

Smart Contract

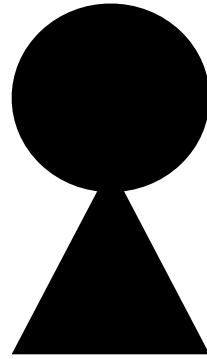


Aさん



遺言状（NFT）保有確認後
& バイナリの照会が一致してから
SCから払い出し

Bさん



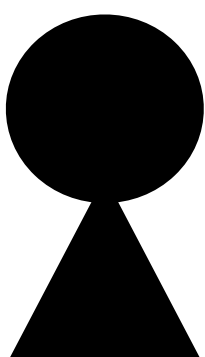
有形資産管理テーブル

NFT Table

Smart Contract

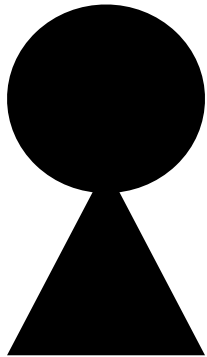


Aさん



遺言状（NFT）保有確認後
& バイナリの照会が一致してから
SCから払い出し

Bさん



遺言状譲渡後はスマートコントラクトからの払い出し請求できる
ブロックチェーンの署名を相続者のみに限定

スマートコントラクト設計図（遺産相続編）

- ・このスマートコントラクトのメリット

- ①遺言状管理を弁護士がしなくて良くなる

- ②今回は制御的に簡単に設計しているが遺言の内容に合わせて分配する仕組みも可能

- ③外部からのハッキングされてもNFT&プライベートキー

- の盗難がない限り遺産のハックは不可能（まだここまでの実装はしてない）

- ・課題

- ①弁護士の署名を弁護士資格をNFT化する必要がある

- ②現存法律でどこまで許容されるか？など